学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「MOUSA１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歌唱・器楽・創作・鑑賞、すべての分野において、音楽を多面的にとらえ、他者とのコミュニケーションを図りながら「わかる・できる力」を養います。
「音楽って楽しい！」という気持ちを大切に、一緒に音楽を創りましょう。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成する。
１．曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
２．自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
３．主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【知識】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【技能】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	イメージを持って豊かな声で歌おう！	校歌 翼をください 日曜日よりの使者 ありがとう(2重唱)	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞について理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b:旋律や強弱など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 C:発声法や音楽の構造、他者との調和やハーモニーについて関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察
	リズムの楽しさを感じながら演奏しよう！	「プリマスロック」 カップス【創作】	a:【知】音楽の構造について理解している。 【技】曲にふさわしい身体の使い方や表現形態の特徴を生かして表現する技能を身に付けている。 b: 音色やリズム、速度や強弱など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏したり、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 c: 音楽の構造やリズムでの表現について関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に演奏・創作の活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察 ・課題の提出

2	ギターで弾き語りに挑戦しよう！	「第三の男のテーマ」 「日曜日よりの使者」	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。【技】曲にふさわしいギターの奏法の技能を身に付けている。他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:音色やリズムなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 C:ギターの音色や奏法、に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・共働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・筆記テスト ・演奏の聴取	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察
	箏に挑戦しよう！	さくら変奏曲	a:【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて、また楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:箏の音色や旋律、強弱など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 C:箏の奏法や音楽の特徴について関心を持ち、演奏を楽しみながら主体的・協働的に箏の演奏活動に取り組もうとしている。	・筆記テスト ・演奏の聴取	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察

	世界の音楽を知ろう！	世界の諸民族の音楽 ・我が国や郷土の伝統音楽 ・アリラン ・オルティンドー ・ヨーデル など	a:【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりや我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 b:我が国の伝統音楽や世界の音楽の特徴について知覚し、それらの特徴を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 C:我が国や郷土の音楽、諸外国の音楽の特徴などに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	・筆記テスト ・ワークシート	・ワークシート	・観察
3	ハーモニーを味わおう！	「言わない」 「ぼくは ぼく」	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞について理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b:楽曲の旋律や構成など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 C:美しいハーモニーを奏でるということについて関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察
	音楽を創ってみよう！	【創作】 簡単なメロディーとコード付け	a:【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】旋律をつくったり、つくった旋律に和音などをつくったりする技能を身に付けている。 b:創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って創作表現を創意工夫すること。 c:創作活動に関心を持ち、創作活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組もうとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・観察 ・課題の提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度